



AMX-18 杉綾模様のトートバッグ

デザイナー / 山下ニヒ子

- 使用織り機…オリヴィエ 〈織美絵〉
- 使用糸

使用糸 (リッチモア手あみ糸)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
スターメツィード	No.231	①(茶色)	1.4玉
スターメ	No.53	②(黄土色)	1.6玉
キシメン	No.5	③(こげ茶)	0.8玉

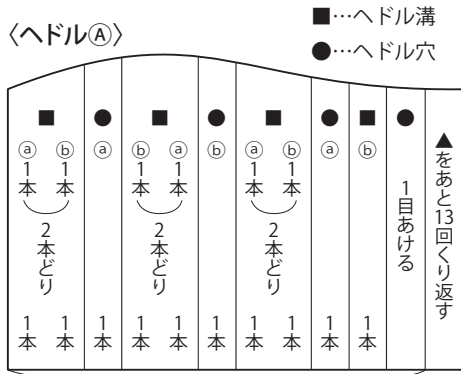
- 使用ヘドル…30羽 (30本/10cm) 2枚
- 他に用意するもの…裏布80×37cm、接着芯78×35cm
レザー持ち手 (黒/黒メタ/H210-505-14) 1組、洗濯バサミ
- ヨコ糸密度…★部分 20段/10cm、♥部分23段/10cm (織機からはずしたあと)
- 織り上がり寸法…長さ83cm、幅35cm
- 出来上がりサイズ…深さ34cm、口幅36cm、マチ11cm
- 作り方

1 ヘドルを2枚使い、配色どおりタテ糸を張る。

タテ糸の本数…①72本、②72本(両端2本どり分含む)
ヘドル通し幅…37cm
タテ糸の長さ…140cm

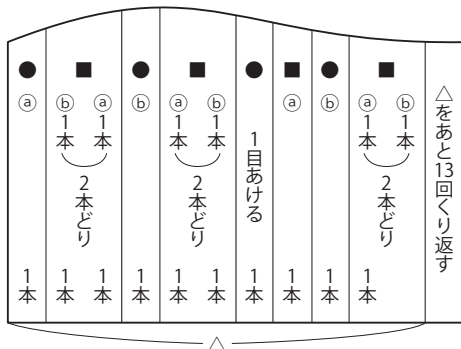
- ①まずヘドル①にタテ糸を通す。
- ②バックローラーにタテ糸を巻きとる。
- ③〈図1〉のようにヘドル①の手前にヘドル②を置き、タテ糸を通す。

〈タテ糸配色〉



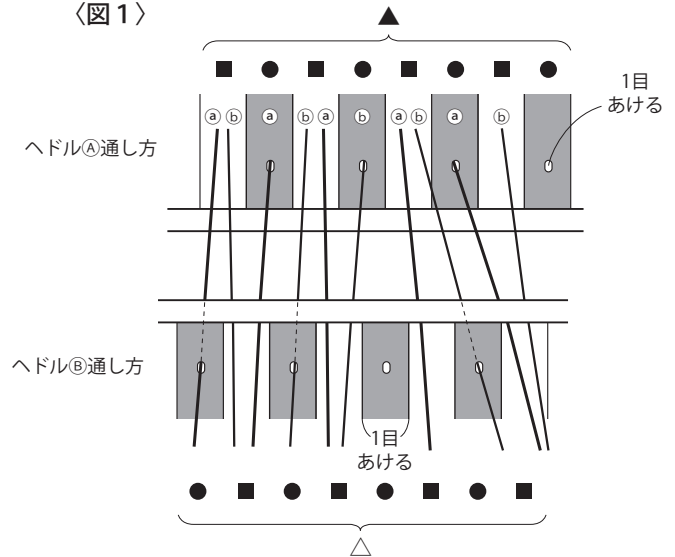
※ヘドル溝から通していく。
両端は各1本ずつ足して2本どりにする。
(元々2本どりの左端は3本になる)

〈ヘドル②〉



※ヘドル穴から通していく。
両端は各1本ずつ足して2本どりにする。
(元々2本どりの右端は3本になる)

〈図1〉



織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。
織り機からはずすと約10%織り地が縮みます。
織るときは縮み分を考慮し、
打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。
※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

2ヨコ糸を配色どおり織る。

<★部分のヘドルの動かし方>

- ①ヘドルA：サイドポストの後ろで浮いた状態
ヘドルB：レストポジション
(ヘドルAの●(ヘドル穴)の糸のみが下がった状態)

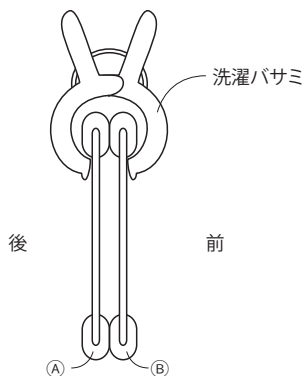
- ②ヘドルA：アップポジション
ヘドルB：アップポジション
(ヘドルA②とも●の糸のみが上がった状態)

- ③ヘドルA：レストポジション
ヘドルB：ダウンポジション
(ヘドルBの●の糸のみが下がった状態)

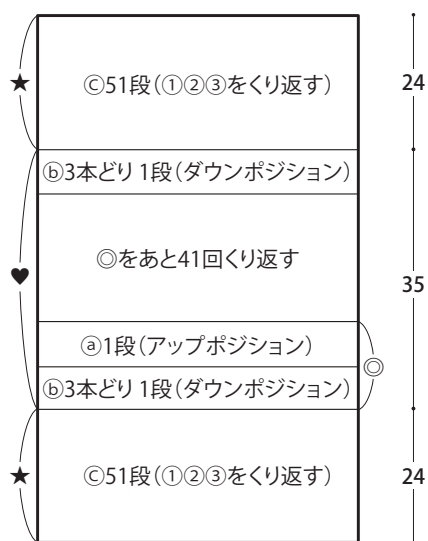
<♥部分のヘドルの動かし方>

ヘドルA②を洗濯バサミなどでとめて、2枚一緒にダウンポジション・アップポジションをくり返す。

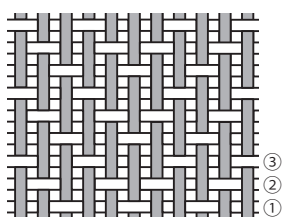
<横から見た図>



<ヨコ糸デザイン>



<★部分>



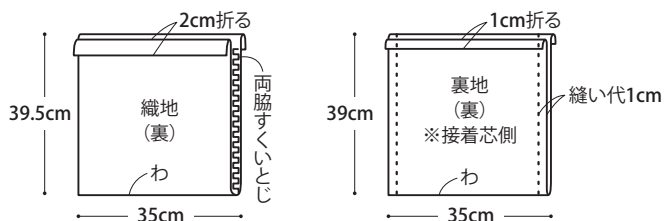
<♥部分>



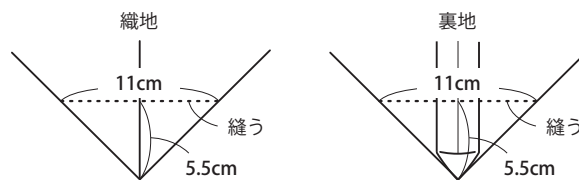
3織端にジグザグミシンをかけ、フサを短く切る。

4仕立てる。

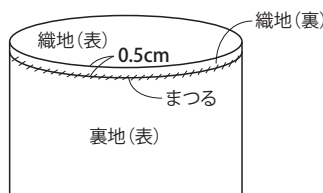
- ①周り1cmを残して裏布に接着芯を貼る。
- ②織地、裏布とも脇を縫い、底にマチをつくる。



<マチのつくり方>



③裏地の口を織地裏側にまつりつける。



④持ち手をつける

